

くらしとお金の知恵 ~「使う」「貯める」「増やす」~

年 組 番	名前
-------	----

1.「お金を増やしたい」とき

(1) ()内の適する方に、○を記入しよう。

預貯金 「安全性」(高い・低い) 「収益性」(高い・低い)

株式 「安全性」(高い・低い) 「収益性」(高い・低い)

(2) 空欄に適する語を記入しよう。

「安全性」と「収益性」がともに高い金融商品は

--

「安全で、収益性の高い金融商品」は、

--

でよく使われる誘い文句です。

「

--

・

--

・

--

」投資を低成本で行う、という運用方法を知りましょう。お金運用するとき、「複利の力」を意識 「

--

」の法則」を使う72 ÷

--

 ÷

--

 年数

2.「金融商品」を選ぶときの注意点

①～③の空欄に適する語を記入しよう。

① 金融商品は、「

--

」からしか購入しない」と決めておく。② 「

--

」がきちんと

--

商品しか買わない」と決めておく。③

--

は、「

--

」から提供されているか」に注意する。

3.ここまでを振り返りながら、将来、経済的に自立したことについて、考えてみましょう。

(1) つぎのような場合、「使い道を自由に決めることができるお金」を、「使う」「貯める」「増やす」の3つに振り分けるとしたら、「何円ずつ」にしたいですか。例も参考にして、下の表に記入しよう。

○就職して、18ヶ月が経過した。賃貸住宅に一人で暮らしている。扶養家族はいない。

○毎月の給料から、食費・光熱費・家賃等の必要な支出を差し引くと、「月々1万5千円、使い道を自由に決めることができるお金」がある。

(2) その金額を何にしたいか、例も参考にして、記入しよう。

(大体の方向性の記入でよい。具体的な商品や銘柄が決まっている場合は、それを記入しよう。)

(3) (1)、(2)を、そう決めたのは、なぜか？ その目的などを、例も参考にして、記入しよう。

	使う(支出する)	貯める(貯金する)	増やす(投資する)
(1) 金額	例 5千円	例 5千円	例 5千円
(2) 何に？	例 友人との外食などを楽しむために:3千円 スマホで映像や音楽を楽しむために:2千円	例 病気やけがなど不測の事態に備える貯金:2千円 旅行やレジャーのための貯金:3千円	例 投資信託(積立):3千円 株式(積立):2千円
(3) なぜ？ (目的等)	例 ・健康に働き続けたい ・働く意欲を高めるには楽しむことが大切	例 ・病気やけがなどは、健康保険だけでは、全部はカバーできない ・普通預金または現金で貯金しておきたい	例 ・社会的に貢献している企業を応援したい ・少額で多くの企業に投資できる投資信託を考えたい ・地元企業を応援するためにその株式を購入したい

4. 学習をふりかえりながら、将来の支出・貯金・投資について、自分の考えを記入してみましょう。